

●野鳥園臨港緑地

面積:19.3ha 緑地:6.5ha
干潟:12.8ha



北池



オオタカ

●魚つり園護岸



[3] 大阪港の水環境と自然を守る

① 人や環境にやさしい港をつくる

大阪港の舞洲には緑の森や草原，水をきれいにするための人工磯，美しい夕陽を見ることができる「新夕陽丘」（高さ約25 m）など，潮のにおいや自然を感じることができる場所をつくっています。

咲洲には日本最初の人工干潟で重要な湿地として認められた「野鳥園臨港緑地」があります。この野鳥園には，多くの人が野鳥や生物の観察におとずれ，アオサ取りなど海辺の環境を守る活動も行っています。



舞洲緑道／人工磯



アオサ取りのようす



「干潟ってどんなところ？」「大阪湾でとれる魚ってどんなもの？」「大阪港の海辺の植物は？」などについて調べてみるとおもしろいですよ。

② みんなの暮らしに役立つフェニックス埋立処分場

わたしたちの住む大阪市をはじめ，近畿の168市町村から出てくるごみは，焼却などの処理をされた後，大阪湾フェニックス計画の埋立処分場に運ばれています。

大阪港でも市民の生活環境を守るため，「大阪沖埋立処分場」をつくっています。

毎日のくらしやさまざまな産業活動などからたくさんのごみが出てきます。埋立処分場をできるだけ長く使えるようにするためには，ごみを減らすことが大切です。どうすればよいか考えてみてください。



大阪沖埋立処分場

